

ホームページ 外注ガイドブック

HPを業者へ依頼する前に読んでおくとよい本。

限られた予算を最大限に活かし、
効果的なホームページを作るための基礎知識を
まとめました。

株式会社 ウェブさえ

「ウェブさえあれば」がコンセプトのHP制作会社。

個人事業、中小企業向けの小～中規模のHP作成が得意です。
小さなビジネスの大きな味方になれるよう、制作スタッフがー丸となり、日々HPの制作に励んでいます。

Address :

東京オフィス
東京都港区南青山2丁目2番15号ウイン青山9階
京都本社
京都市中京区姥柳町209-202

Contact :

Company) <https://websae.co.jp>
Blog) <http://websae.net>
FB) <https://www.facebook.com/websae>

ようこそ！ 初心者さんのための ガイドブックです。

まだホームページは作らないで！

このガイドブックを読み終えるまでは。

ホームページを作るときに、一番多い失敗の原因は「知識不足」。業者へ丸投げするつもりでも、最低限の知識は身につけておきましょう。

なぜなら、値段交渉でぼったくられないため、また、完成したHPのクオリティを判断するためなど、制作を進めていく間のいろいろな場面で役立つからです。

- *スキルなしでもプロっぽいHPを自作できる方法
- *失敗しない業者の選び方
- *予算の決め方
- *SEOとは？
- *HPを売上にしっかり結びつけるための方法

このガイドブックを最後まで読めばちゃんと理解できます。

まずは右側の目次に目を通してみましょう。

何から始めればいいのかわからない初心者さんが知りたい、はじめの一歩の踏み出し方。

このガイドブックがお手伝いします。



HP作成 きほんのき 9つ

[知ってる？ 実はHPなんて簡単に作れる....](#) 4

[なぜ、わざわざ業者へ依頼するの？.....](#) 6

[提案力のない業者に注意！.....](#) 8

[いくらが適正？ HP作成費の相場.....](#) 10

[SEOって何？ 初心者が知らない真実.....](#) 12

[WordPressは本当に簡単なの？.....](#) 14

[ホームページ依頼の流れ.....](#) 16

[HPを作ったあとは？ HPが失敗する理由](#) 18

[HP制作前のチェックリスト.....](#) 20

[それでもまだHPの作り方に迷うあなたへ](#)



1. 知ってる？ 実はHPなんて簡単に作れる

誰でも無料でHPを作れるサービス

知ってましたか？

じつは、だれでも簡単にホームページを作れるサービスがあります。

HTML・CSSといった専門スキルは一切不要。インターネットにつながるパソコンさえあればじゅうぶん。

次ページで紹介するサービスを使ってみましょう。メールアドレスを登録後、パズル感覚でホームページの作成を楽しめます。

業者へ依頼する予定のひとつでも、試しに一度くらいは自分でHPを作ってみましょう。自分で作ってみた経験は業者へ依頼するときにも役立ちます。

“ 普段はほとんどパソコンを開かないあなた。まさかこんな簡単に素敵なHPが作れるなんて！”と驚くはずです。HPを自分で作ってみると、デザインのルールやアクセスアップの方法を勉強する機会になりますし、自分のビジネスについて客観的に見つめ直すきっかけにも。



次ページで紹介。HP作成サービスの使い方

初心者さんでも簡単にホームページを作成できるサービスを次ページで3種類、紹介します。

3種類とも使い方は同じ。以下の3ステップで本格的なホームページを作れます。

1. メールアドレスを登録
2. テンプレートからデザインを選ぶ
3. テンプレート内の文章と写真を差し替える

HTML・CSSを勉強したり、レンタルサーバーの設定に四苦八苦したり、そんな苦労はいりません。

PCの画面上でデザインを見ながら、パズルを楽しむようにホームページを作っていきます。

どんなデザインが自分のビジネスに向いているのか？ HPを作るときはどんなことを考えておく必要があるのか？

自作から得たこうした知識は、業者へ依頼するときにも役立ちます。

無料で利用できるサービスもあるので、ぜひ試してみてください。

HP作成サービス おすすめ3つ

名刺代わりのHPに最適「WIX」

会社の公式HPを作るのにぴったりのサービス。

業種ごとに分類されたテンプレートは、どれを見てもクオリティが高く、サクッと文章と写真を入れ替えるだけでも、十分公開できるレベルになります。

シンプルな名刺代わりのHPから、本格的なビジネス用サイトまで作れる、数あるHP作成サービスの中で人気ナンバーワンのサービスです。

[→WIXを無料で試してみるならこちらをクリック](#)

お店のHPなら「グーペ」

グーペは、店舗系ビジネス専用のHP作成サービス。

飲食店／病院・クリニック／美容室・エステサロン・整骨院／税理士・行政書士などなど。こうした「お店用のHP」が欲しい人は、ぜひ使ってみてください。

例えば、予約をネット上で受け付けられる機能、営業スケジュールやイベントなどがひと目で確認できるカレンダー機能、店舗の場所を地図で示すGoogleマップなど、集客用の機能がたくさん活用できます。

[→グーペを無料で試してみるならこちらをクリック](#)

ネットショップなら「Stores.jp」

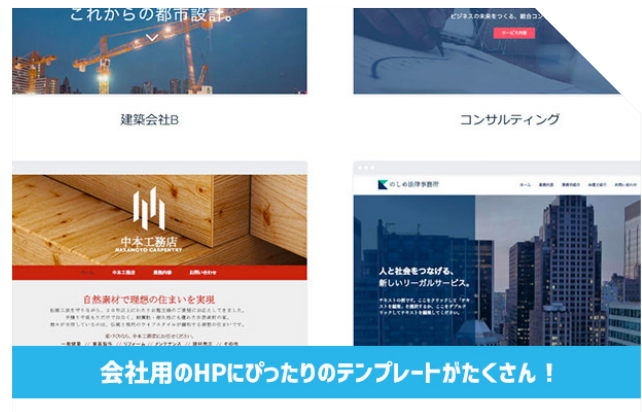
ネットショップも簡単に作れる時代です。

使い方は、WIXやグーペと同じ。メールアドレスを登録後、ショップのデザインをテンプレートから選べばもう开店準備はOK。

こんなに簡単に作れてしまうネットショップでも、できることは本格的。

カード決済や予約販売、まとめ割引、メルマガ発行など、売上げアップに必要な機能がたくさん利用できます。

[→Stores.jpを無料で試してみるならこちらをクリック](#)



2. なぜ、わざわざ業者へ依頼するの？

HP制作会社へ依頼するメリットは提案力

前ページで紹介したサービスを利用すれば、確かに、自分でも簡単にプロっぽいホームページが作れます。なのに、なぜ？ わざわざ高いお金をかけて業者へ依頼する必要があるのでしょうか？？

その理由は「提案力」。なぜなら、業者へ依頼すると効果的なHPを作るのに役立ついろいろな提案を期待できるからです。

ウェブ制作会社へ依頼すると、ディレクター、デザイナー、プログラマーが一丸となり、あなたをサポートしてくれます。デザインやアクセスアップの方法についてプロのアドバイスを頼りながら制作を進めていけるので、素人が自分ひとりで作るよりも心強く、効果的なHPを作りやすくなるのです。

「あればいいだけ」のHPなら適当に自作すればOK。でも、効果的なHPが欲しいなら、やっぱりプロに協力してもらったほうが有利です。確かにお金はかかりますが、HPの制作費用は投資と同じ。結果として売上が大きくなれば、制作にかかったコストは回収できます。



業者は何を提案してくれるの？

業者へ依頼すると、ヒアリングから始まります。どんなHPがほしいのか、どんな効果を期待しているのかを担当者へ伝えましょう。

最初から、アイデアが固まっている必要はありません。まだ漠然としているアイデアを具体的な形にしていくのもウェブ制作のプロである業者側の仕事です。

ヒアリングがじゅうぶんに進んだところで、業者はだいたい以下のような方法で、HPの方向性を提案してくれます。

- *企画提案書
- *サイトマップ
- *ワイヤーフレーム

こうした目に見える形で提案してもらえるところに、業者を頼るメリットがあります。

逆に、こうした提案をしてくれない業者には依頼するメリットはありません。

なかには、提案ありでも提案力のない業者がいます。効果の出ないアドバイスに耳を傾ける必要はありません。

必ず「提案力」を重視して、業者を探しましょう。

ウェブ制作のプロはこんな方法で提案してくれます

企画提案書

企画とは、これからどんなホームページを作っていくのか、その方向性を計画することです。企画提案書はその計画をまとめた書類。制作会社によって、作り方やボリュームは変わりますが、だいたい以下のような内容が、図と文章で提案されています。

*ターゲット／目的／集客方法／SEO

デザインと違い、企画は地味な作業ですが、デザインと同等以上に専門的なノウハウと高度なスキルが業者側に必要です。それだけに、企画にはデザインと同等の費用がかかることも。企画提案費としてデザインとは別に費用が発生する場合があります。



ターゲット／目的／集客方法／SEOなどを計画

サイトマップ

サイトマップは、ホームページの構成図のこと。ホームページの中にどんなページが存在しているのかを表しています。

HPの作成に慣れていない人にとって、最初の難関がこのサイトマップを考えることでしょう。適切なページ数、各ページへ掲載する内容、なかなか考えがまとまらないと思います。

そこで頼りになるのが、業者が作る「サイトマップ」。予算の範囲でベストなページ数と各ページの内容をアドバイスしてくれます。もちろん業者が決めたサイトマップが絶対ではありません。

提案されたサイトマップをもとに意見を交わし、ベストな構成を考えましょう。



サイトマップは「HP内の構成図」

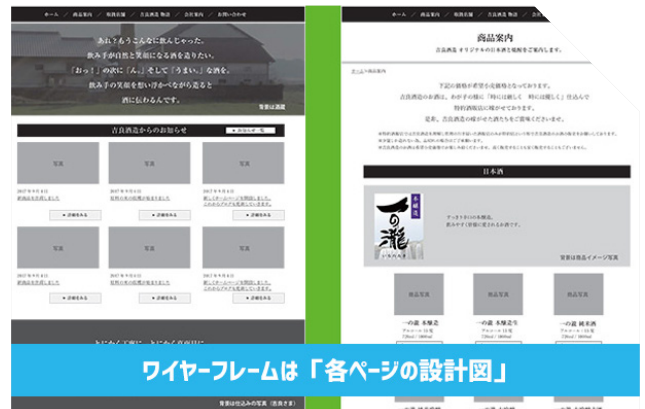
ワイヤーフレーム

ワイヤーフレームは「骨組み」という意味の言葉。

サイトマップがHP全体の構成図だとしたら、ワイヤーフレームは各ページの構成図。ワイヤーフレームを見ると、そのページのどこにどんな文章・画像を載せるのかがわかります。

ワイヤーフレームは、「配置図」ということもできます。事前に配置図があることで、どんなデザインになるのかイメージしやすくなりますよね。

提案されたワイヤーフレームをベースに、「ここにはこんな画像を載せたい」、「この文章はいらない」と意見を出し合い、ベストな配置をを練りましょう。



ワイヤーフレームは「各ページの設計図」

3. 提案力のない業者に注意!

失敗しない業者の選び方

業者を利用するメリットは「提案力」。

提案力のない業者を選ぶのは、自分でHPを作るのと同じなので、わざわざ高いお金をかける意义がありません。

例えば、テンプレートをそのまま使う業者もあります。テンプレートの写真と文章を入れ替えるくらいなら、最初に紹介したHP作成サービスを使えば自分でもできるはず。何もアドバイスがなく、伝えたことだけしかやってくれない業者もあります。HPを初めて作る素人のアイデアだけでは、完成したHPにじゅうぶんな効果を期待できないでしょう。

どこに依頼するか、業者を選ぶときは「提案力」で比較します。単に値段だけで比べず、デザインや集客方法について効果的なアドバイスを期待できる業者を選ぶようにするわけです。

提案力のある業者を見つける方法は「検索」。ホームページについて調べているとき、よく検索でヒットする業者には提案力を期待できます。検索ヒットするということは、すでに効果的なHPを作るノウハウを持っている証拠。効果的なアドバイスも期待できます。



提案力のある制作会社の見分け方

SEOやSNSの運用で実績を出している業者ほど、提案力に自信を持っていることが多いです。

見た目にきれいなHPは、だれでも作れます。プロのウェブデザイナーならもちろん、一般の人でも最初に紹介したHP作成サービスを利用すれば可能です。

難しいのは、「効果的」なHPを作ること。

効果的なHPを作れるかどうかは、その業者自身のインターネット上での活躍を見ればわかります。

検索してみて上位ヒットする業者ほど、SEOのノウハウを持っていることが期待できますし、SNSでフォロワーが多い業者ほど効果的な情報発信のテクニックを知っているはず。

ただ単にホームページを作るスキルを持つ業者は山程存在しますが、作ったホームページをいかに活用していくのか、まで考えてくれる提案力のある業者はなかなか見つかりません。

でも、せっかくお金を出すわけですから、作るだけでなく提案してくれる業者を選ばないと損。提案力のある業者を探しましょう。

提案力のある業者の例。こういう業者は期待できそう

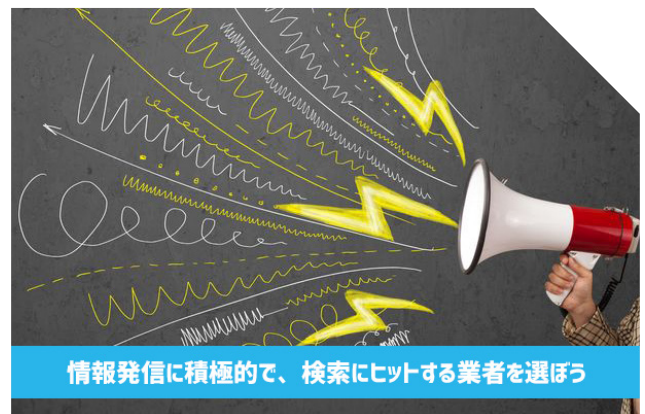
ブログを積極的に更新。検索によくヒットする

HPを作ったあと最初に必要なのは、何よりアクセス。アクセスがないHPは存在していないのも同然です。

アクセスを増やすには、検索での上位ヒットが欠かせません。ただ、検索で上位にヒットさせるには、HPを単に作るのとは別の特殊なノウハウが必要です。このノウハウを「SEO」といいます。

実際に自社でも検索結果で成果を出している業者であれば、SEOに関して詳しいはずですよ。

HPを作ったあと、どんな取り組みが検索の上位表示へ効果的か、具体的なアドバイスをしてくれるでしょう。



情報発信に積極的で、検索にヒットする業者を選ぼう

SNSアカウントもチェック

最近では、SNSの活用がビジネスの成功に欠かせません。

Twitterやfacebook、近頃ではInstagramも一般化してきました。

こうしたSNSを利用することで、SEOとは異なる客層へアプローチできます。

当然、自らSNSをうまく活用している業者のほうが、運用方法について効果的なノウハウを持っているはずですよ。

依頼する前に、どんな活動をしているか業者のSNSアカウントも忘れずチェックしてみましょう。



SNSの運用が得意な業者を選ぼう

提案にもお金がかかります

提案力のある業者は、一般的に「作るだけ」の業者よりも制作費が高い傾向があります。見積を取ると、「企画提案費」のような名目で費用が計上されていることも普通です。

提案するには、依頼主の要望を正確に理解した上で、競合調査や資料の作成など専門的な作業が必要になるからです。ただ依頼のとおり作るだけより、難しい作業が増えるので、そのぶん費用が高くなるわけです。

提案は目に見えないサービスなので、お金がかかることに違和感を覚える人もいるかもしれませんが、効果的なホームページを作るのに欠かせない専門作業。デザインと同等に価値のある作業なのです。



作るだけでなく「提案」してくれる業者を選ぼう

4. いくらが適正？ HP作成費の相場

HP作成費用のカラクリ

HPの作成費用、なぜ、業者によって値段が変わるのか？ その理由は、業者によって作り方が違うからです。

HPを作成するのに、仕入れは不要。しかし、仕入れの代わりにウェブデザインやプログラミングといった特殊な技術による作業時間が必要です。この制作に必要な「技術の質が高いほど」と「作業時間が長いほど」、HPは高くなります。

例えば、テンプレートを利用し、文章と画像を差し替えただけのHPなら10万円以下でも作れます。一方で、しっかりとヒアリングを行い、アクセスアップや売上改善に効果のあるオリジナルデザインのホームページを提案してもらう場合は100万円近くかかることもあります。

とにかくあればいいだけのHPならテンプレートの業者で10万円以下。会社・お店の顔として恥ずかしくないオリジナルデザインのHPは30万円くらい。売上アップのため積極的に活用したいHPなら、少なくとも目標の月間売上の1ヶ月分くらいを予算に。



制作費は投資と同じ

もちろん、できるだけ安く作りたいという気持ちはわかります。

でも、お肉でもサービスでも、安いほど質が悪くなるのは当然ですよ。HPも同じ。

安く作ったHPに大きな効果は期待できません。そうかといって、持てるお金を全額、HPにつき込むわけにもいけません。

重要なのは、目的に対して適切な予算を準備すること。

とりあえずあればいいだけのHPなら、テンプレートを利用した業者へ依頼すれば10万円以下で作れます。

ただ、ビジネス用であれば、会社やお店の顔として恥ずかしくないクオリティで作っておきましょう。30万円くらいあれば、オリジナルのデザインで作ってくれる業者が見つかります。

上手な予算の組み方は、目標の売上から考えてみる方法です。ホームページは公開直後にいきなり売上が増えることは、ほぼありません。

売上が伸びてくるまで、早くても3ヶ月くらいはかかります。どのくらいの期間で目標の売上を達成し、そのあと、どれくらいの期間で制作費を回収したいのかを考えれば、制作にかけられる予算が明確になります。

予算内でベストな業者を見つける方法

予算さえ決まれば、だいたい業者の候補は絞り込めます。

予算内に収まる業者の中から、ベストな業者を見極める方法。じつは、それほど難しくはありません。

以下であげる3つのポイントを重視して比較してみましょう。どの業者を頼るのが一番効果的なHPにつながるのか、見分けられるはずです。

制作事例を見せてもらう

ネット上で過去の制作事例を公開している業者が多いです。公開してなくても、お問い合わせすれば簡単に見せてくれるはずですよ。

制作事例を比較するときは、以下の2点に注意します。

1. 同じくらいの制作費で作られたHPを比較
2. テンプレートかオリジナルデザインかを確認

10万円のHPと100万円のHPを比べることに意味はありません。安いのおしゃれに見えるHPは、ほぼほぼテンプレートのはずです。

予算が同じくらいの業者同士で実績を比較し、デザイン性や作り方を比べるのが正しい業者の選び方です。

情報発信を積極的に行っているかどうか

HP作成はあなたと業者の共同作業。コミュニケーションスキルが高い業者を頼るほうが、ストレスなく制作を進めることができます。

この「業者のコミュニケーションスキル」は過去の制作事例からは判断できません。そこで、自社運営のブログやSNSをチェックしてみましょう。情報発信に慣れている業者ほど、情報伝達のスキルに優れている場合が多いからです。

さらにいうと、自ら情報発信に取り組む業者は、アクセスアップやSEOなどHPへの集客方法に関するノウハウもたくさん持っている場合が多いです。

遠慮せず複数社へ相見積もりしましょう

たった1社にしかお問い合わせをしていないのに、早まって外注先を決めてしまい人がいます。

遠慮はいりません。必ず複数の業者へ見積りを依頼しましょう。

複数社へ見積りを依頼することを「相見積もり」といいます。相見積もりは安く良いものを作りたいときの鉄則。だいたい3社ほど相見積を取れば十分、自分の作りたいHPの相場もわかるはず。

3社で、過去の制作実績、情報発信への取り組み、サポートの印象を比較し、最も制作をスムーズに進め、効果が得られそうなHPを作ってくれそうな業者が、ベストな依頼先です。



予算が同じ程度の業者で実績を比較



業者のブログを見れば技術力や提案力を予測できる



最低 3社は見積を取ろう

5. SEOって何？ 初心者の9割が知らない真実

検索ヒットの裏技なんてない。

初心者の9割が、検索ヒットさせるための「なにか特別なテクニック」があるのだと思っています。じつは、そんな方法はありません。ぼくもよく、『「〇〇」というキーワードで検索にヒットするよう設定しておいてください』と頼まれるのですが、困ってます。設定するだけで検索上位へヒットさせられる、魔法のような方法なんて存在しないからです。

確かに、ネットを検索すると「SEO」に関する情報がたくさんみつかります。「こうすれば順位があがった」という報告と一緒に効きそうなテクニックが紹介されています。残念ながら、そんな細かなテクニックひとつで、検索上位が取れる時代は終わりました。

いま検索ヒットさせるためいちばん大事なのは、ページ自体の情報価値です。小手先のテクニックに走るのではなく、まず「検索者にとって役立つページ」でなければ、検索の上位にヒットすることはないのです。これがSEOの基本ルールです。

Googleの検索結果は、検索サービスの利用者にとって役立つページがランキング形式で並んだものです。もし、上位へヒットさせたいなら、いま上位へランクインしているページよりも情報価値の高いページを作る必要があります。

検索結果は何のランキングなの？

検索結果は、検索者にとっての「満足度」で並んでいます。検索した人が、「役に立った」、「おもしろい」と満足し、もう二度と同じ検索キーワードを検索しなくても済むようにさせられるページが、「満足度」の高さの順で上から下へ並んでいます。

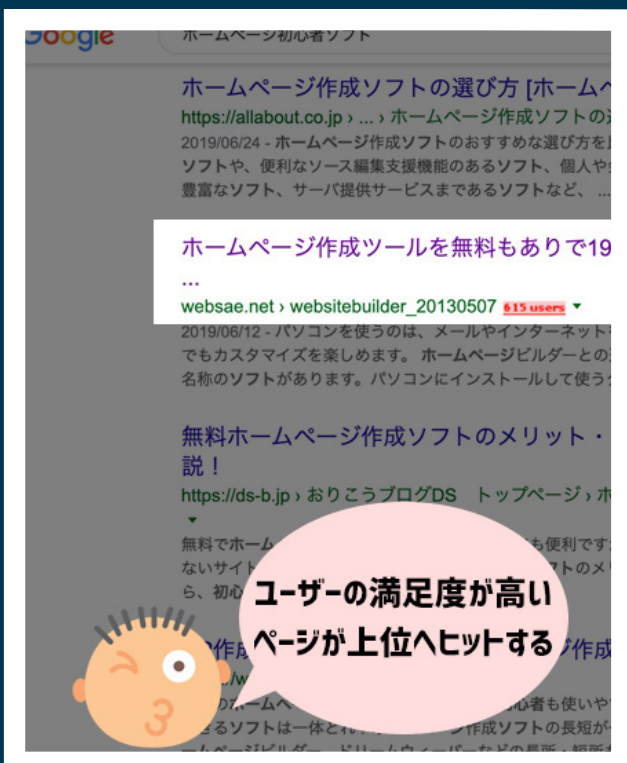
左の例は、「ホームページ 初心者 ソフト」の検索結果です。ぼくのページは上位5位にランクイン。ライバルが多く、非常に上位表示が難しいキーワードでの成果。

でも、なにか特別な裏技を使ったわけではありません。このキーワードを検索する人が満足する内容はなにか？ それを一生懸命に考え、記事にしました。何度も文章を書き直し、画像もオリジナルで何枚も作った、その結果がこの順位です。

まさにこれが、検索で上位を狙うための方法です。手順にすると、わずかに以下の3ステップですが、そんなに簡単なことではありません。

1. まずは上位表示したいキーワードを決める
2. そのキーワードを検索している人が何を求めているかを想像する
3. 検索者の満足する情報が得られるページを作る

SEOについて調べていると見つかる、たくさんの小さなテクニックたちは、上のSEOの基本3ステップができていの上で効果が出ます。最初からテクニックだけに走っても、ページそのものに情動的な価値がなければ、検索結果で上位を取ることはできません。



SEO よくある質問

GoogleとYahooの違いは？

GoogleもYahooも実は同じ検索結果を出しています。

YahooもGoogleが開発した検索の仕組みを利用してるからです。そのため、広告が入る位置やデザインが少し違うだけで、GoogleもYahooも同じ検索結果を表示します。

GoogleとYahooが同じ仕組みで検索結果を表示することは、SEOへの取り組みはひとつの方法で済むというわけです。

検索者へ役立つページを作る。このルールを守っておけば、GoogleだけでなくYahooの検索結果に対しても効果があります。

検索順位は固定なの？

Googleが開発した検索の仕組みを「アルゴリズム」といいます。アルゴリズムは、常にGoogleの開発チームによって改良の手が加えられています。

検索者にもっと満足してもらえるように、検索の精度を上げるためGoogleは日々努力してるんですね。

アルゴリズムが改良されれば、検索順位も変化します。HPの管理人として怖いのは、いままで上位だったのに、いきなりランキングの圏外に飛ぶ可能性。じつは十分に起こりえます。

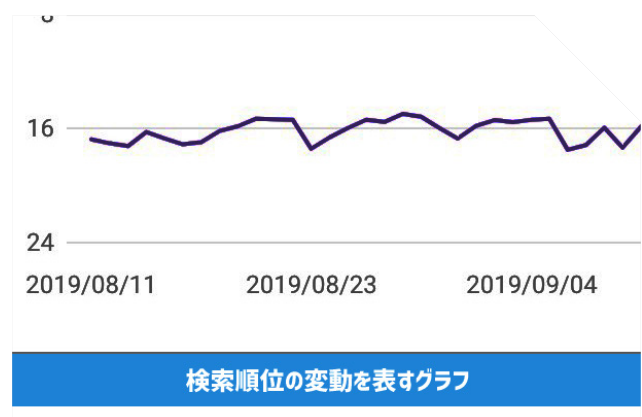
SEO業者の成功保証が矛盾するわけですね。常に変動するのがあたりまえの順位をどんな方法でキープし続けるのでしょうか？

SEO業者は役に立つの？

確かに、SEO業者が効果を発揮していた時代もありました。でも、最近Googleが賢くなりました。結果、SEO業者が使いがちな裏技的なテクニックは、順位操作のための悪質な方法と判断されることが多くなったのです。

なかには、ページの情報価値をコツコツと高める方法で検索上位を狙うマジメなSEO業者もいます。ただ、この正攻法は効果が出るまで膨大な時間がかかります。専門的なノウハウも必要となるので、費用は高く、100万円単位でかかっても珍しくはありません。

そもそもそんなに安く簡単に上位を取れるなら、どんなビジネスでも大成功できますよね。検索上位への道は険しいのが当然なのです。



6. WordPressは本当に簡単なの？

メリットばかりじゃないWordPress。デメリットもある。

「SEOの効果」や「簡単に更新できる」、などを理由にWordPressを利用する人が増えてます。注意したいのは、WordPressのデメリットのほう。初心者には管理が難しい「セキュリティ」や「メンテナンス」について必ず事前に知っておきましょう。

何でもできると期待してWordPressを選ぶ人もいます。WordPressは、デザインや機能をオリジナルにカスタマイズできる仕組みを持っています。でも、「できること」は使い手のスキル次第。単にブログを更新するだけなら、だれでも簡単かもしれません。

しかし、例えばデザインにまで手を加えようとするプロのウェブデザイナーと同等のスキルが必要。あとで期待を裏切られないためにも、WordPressを導入する前に「メリット・デメリット」と「なにができるか」を確認しておきましょう。

WordPressが簡単なのは、ブログの更新だけ。デザインに手を加えるには、HTML／CSSだけでなくPHPやJavaScriptなど高度なプログラミングスキルが必要。SEOの効果も、WordPressを使えば上位ヒット確実、というわけではないので要注意。



WordPressのメリット

WordPressのメリットは、以下の3つ。

- *更新しやすい
- *テーマでデザインを着せ替えられる
- *プラグインで機能を拡張できる

管理画面から日記を書く感覚で更新できます。Googleは検索者に対して有益な情報を積極的に発信しているサイトを好むので、簡単に更新できる仕組みは検索上位表示へ役立ちます。

だからといって、別にWordPressを使うだけで検索にヒットしやすいというわけではありません。検索上位へヒットさせるには、コツコツと質の高い情報を発信するという取り組みが必要です。

テーマは、WordPress用のテンプレートのこと。いろいろなデザインのテンプレートを好みに合わせて着せ替えることができます。ただ、オリジナルのデザインを作るには、かなり高度なスキルが必要。プロのウェブデザイナーに負けないくらいのスキルがいます。

プラグインは、WordPressの機能を増やせる仕組み。お問い合わせフォームやショッピングカートなど、ホームページに「できること」を追加していくことができます。ただ、使いすぎには要注意。プラグインが原因で不具合が生じることもあるので、本当に必要なものだけを使いましょう。

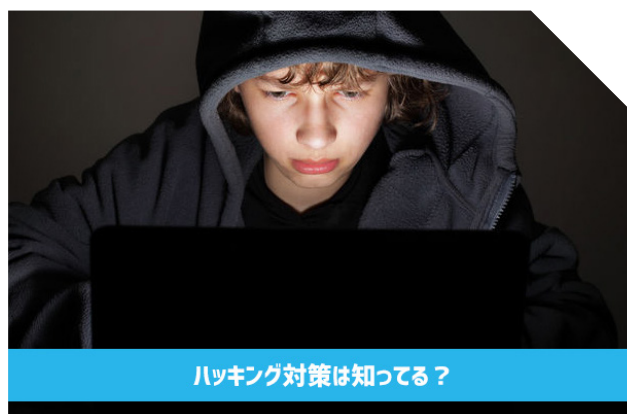
じつはこっちが重要。WordPressのデメリット

セキュリティ

WordPressは、利用者が多いためか、ハッキングやウイルスによく狙われます。

こうした悪質な攻撃からWordPressを守るためには、セキュリティの意識を高くしておくこと。セキュリティ効果の強いサーバーを利用し、ハッキングを防ぐためのプラグインも準備しておきましょう。

万が一、WordPressが被害に遭ったときのために、日頃からデータのバックアップを取っておくことも大切です。バックアップ機能付きのレンタルサーバーを利用するのはもちろん、プラグインで定期的にバックアップを保管しておくことも忘れずに。



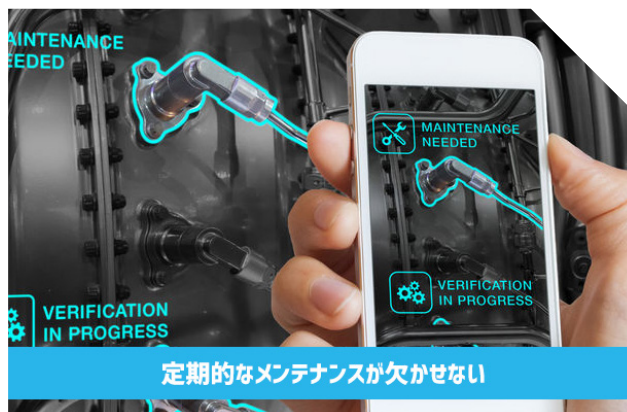
メンテナンス

WordPressは、システムの安定化とセキュリティ効果の向上を目的とした「メンテナンス」が定期的に必要なです。

システム、テーマ、プラグインを最新バージョンへアップデートし、サイトの公開状態が安全に保たれているかの監視も常に行います。

ホームページを公開後、放置したままの人が多くいます。メンテナンスは、ウイルスやハッキングの被害を未然に防ぐため。サーバーの自己管理が不安な人は、業者の保守サービスを検討しましょう。

月額管理費をケチりたい気持ちはわかりますが、WordPressが壊されたら、最悪の場合、HPを作り直すのと同じくらいの復旧費用がかかり、その上、情報漏えいというリスクもあります。



画面が真っ白

デザインや機能へ自由にカスタマイズができるWordPress。慣れてくると、必ずあちこちにオリジナルの手を加えたくくなります。

しかし、カスタマイズは自己責任。誤った方法でシステムに手を入れた結果、管理画面にログインできなくなったり、ホームページが真っ白の状態になったり。未熟なスキルが原因で発生した不具合の報告があとをたちません。

難しいのが不具合の解消。スキル不足の人にとってエラーの原因を特定し修復するのは非常に困難。

楽しいカスタマイズですが、特にビジネス目的でWordPressを使う人は、慎重にトライしましょう。画面が真っ白になったら売上にも響きます。



7. ホームページ依頼の流れ

業者へ依頼。何から始めればいいのか？

これまでガイドブックでお伝えしてきたことを理解しておけば、業者へHPの作成を依頼するための準備はできてます。大体の制作会社では以下の流れで制作が進みます。まずはお問い合わせしないことには始まりません。遠慮は不要、まずは気軽にお問い合わせしてみましょう。



まずは気軽にメールを送ってみよう



3社以上で見積もり



契約書は必須

1. お問い合わせ

ネットを検索すると、ウェブ制作を専門にする業者がいろいろと見つかります。

業者の選び方はすでにお伝えしました。いくつか業者をピックアップ。そのうち少なくとも3社くらいはお問い合わせしてみましょう。

HPの作成案件は「言った・言わない」のトラブルがよく発生します。重要な決め事は記録に残すためメールでのやり取りがおすすめです。

箇条書きでいいので、料金や納期など気になることをリストアップして質問してみてください。

お問い合わせの前に、具体的なイメージが回っている必要はありません。小さな要望からでも、具体的なアイデアへ変えていくのが業者の仕事です。

業者からの返事を見れば、提案力を持っているか、信頼できるかを見分けられます。わかりやすい口調で前向きなアドバイスをくれる業者が、頼る価値のある業者です。

2. お見積り

ある程度、どんなHPを作るのかわからなければ、業者も見積ができません。

最初のお問い合わせから、何度かやりとりを重ねると見積書と一緒にどんなHPを作るのがいいか提案も得られます。

この見積もりは少なくとも3社くらいは取りましょう。

金額だけを比較するのではなく、その金額の範囲で提案してくれる内容を比べて業者を選びます。

比較のポイントとしては、提案力／デザイン力／サポート力。

制作実績や情報発信への取り組み方、メールへの反応を比較し、信頼できそうな業者が見つければ、発注します。

3. 契約

発注時の契約は、必ず書面で交わしておきましょう。

契約書は制作側と依頼側の両方の権利を守るのと同時に、両方の義務を約束させるためのもの。

どちらか一方に有利な内容になっていないか、契約前に確かめておくことが大切です。

契約書の内容で疑問があれば、遠慮なく質問。契約書の内容をお客さんに合わせ修正してくれる場合もあります。

例えば、修正回数について。初めてホームページを業者へ依頼する人にとっては、規定の回数では少なすぎて不安を感じる人もいるかもしれません。

前もって相談しておくことで、契約書規定の修正回数を増やしてくれることもあります。

契約書の内容がすべて理解できた上で、不安がなければ契約締結。制作がスタートします。



小さなアイデアが大きな効果を生むことも

4. ヒアリング

HPの作成は、「ヒアリング＝聞き取り調査」から始まります。

制作の進行を担当するのはディレクターと呼ばれる職種で、デザインやコーディングを行う制作スタッフとは別の場合が多いです。

ディレクターと質疑を重ね、どんなHPを作っていくのか方向性がまとまれば業者からの企画提案へと進みます。



専門的な視点からの提案こそ業者を利用するメリット

5. 企画提案

企画提案では、今後の制作の進行方法、HPの構成とデザインの方向性、完成後のHP運用方法などがディレクターからあなたに詳しく伝えられます。

ディレクターから提案された内容に納得できれば、企画を形にするためのデザイン・コーディングという制作作業が始まります。



デザイナーのセンスとスキルの見せどころ

6. デザイン

ウェブデザイナーが、HPの見た目を作ります。デザイナーのスキルとセンスが発揮される場所です。

デザインというと見た目の美しさや華やかさだけが重視されがちですが、ウェブデザインの場合は「使いやすさ」や「わかりやすさ」も重要です。

HPを訪問するお客様の立場になって、どんなデザインが最適かを考えましょう。



担当者のスキルがHPの公開状態に影響

7. コーディング

コーディングとは、デザインをネット上で見られるデータに変換するための作業です。

最近では、デザインとコーディングを同時に進める方法も、制作作業を効率化するためによく使われています。

コーディングの質を一般の人が判断するのは難しいのですが、質はコーディングを担当するコーダーと呼ばれる職人の経験と比例する傾向があります。

実績が豊富なコーダーへ依頼するほど、デザインの崩れがなく、素速く表示し快適に閲覧できるHPにしてくれるわけです。



ついに世界へ

8. 公開

コーディングが終われば、HPのデータをレンタルサーバー上へアップします。

ここで一般の人たちがHPへアクセスできるようになります。

レンタルサーバーの設定とデータのアップは、制作費用に含まれていることがほとんどですが、まれに別途費用の業者もいます。

レンタルサーバーの取扱に不安な人は、念のため、事前にデータのアップまで担当してくれるかどうかを確認しておきましょう。

公開状態のHPを、訪問者の気持ちになっチェック。「わかりにくいところや使いにくいところはないか?」、「伝えたいことがしっかりと表現できているか?」などを確認。最終的に納得できれば制作作業は完了です。



ここからが本番。売上げアップのために

9. 運用

業者側での制作作業は完了となりましたが、HPオーナーの役割はここからが本番スタート。

公開したあと、売上アップのためにHPを活用していくことを「運用」といいます。

公開したまま放置したHPに、勝手にアクセスが増えることはありません。

ブログの更新やアクセス解析など、HPの運用に取り組みましょう。

HPの運用方法については、次ページで詳しく説明します。

8. HPを作ったあとは？ HPが失敗する理由

公開したHP、「アクセスがこない」のが普通。

HPは、作って終わりではありません。公開したHP、集客に取り組まない限りアクセスは増えません。

アクセスがないHPは存在していないのも同然です。売上にもなんにも役立たないHP。

作ったホームページの効果がまったくないのは「放置」が原因であることが多いです。作ったままほったらかしにせず、しっかり運用していきましょう。



とりあえずHPを作れば、お問い合わせが増えると思ってはいませんか？ 実際は、作っただけのHPにアクセスがくることはありません。HPを公開後、ブログを更新したり、SNSで宣伝したり、コツコツと集客に取り組み約3ヶ月、やっとアクセスが増えだします。



新しいHPの存在を知る人はいません

新しいHPは、人通りのまったくない裏通りにひっそりとオープンしたお店と同じです。そのままだと誰にもアクセスしてもらえません。

アクセスを増やしていくには、以下の方法があります。

広告

アクセスを増やすのに、一番手っ取り早い方法です。お金でアクセスを買うわけですね。広告には、検索結果からアクセスを増やせるリスティング広告、他サイトへ貼り付けられるバナー広告などがあります。アクセスを増やしたいターゲットによって、使い分けます。

SEO

SEOは、検索結果からのアクセスを増やすための取り組み。いろいろと細かなテクニックはありますが、使いこなすには高度な専門知識が必要です。初心者はまずGoogleの検索の仕組みを理解し、検索へヒットさせるのに必要な基本的な知識から身につけましょう。

SNS

facebook, twitter, instagramなど。リアルタイムに情報の共有が可能なサービスは、うまく利用することでお店や商品について沢山の人の知ってもらえるきっかけを生み出せます。

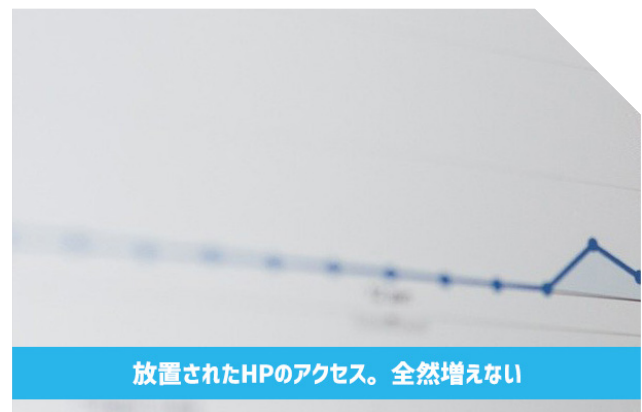
HPの効果を調べる方法

効果がない、なぜ？

ホームページのアクセス、SEOの効果、お問い合わせに対する効果などを調べられる方法がGoogleから2種類、無料で提供されています。

HPのオーナーであれば、必ずこの2つのサービスを利用し、HPの現状を常に把握しておきましょう。

アクセスをさらに増やし、売上やお問い合わせをアップするには、どんな改善方法が必要なのか、そのヒントが得られます。



Google アナリティクス

ホームページへアクセスしてきた訪問者の行動を記録してくれます。

- アクセス数
- 人気のページ
- アクセスを失うきっかけになっているページ
- 訪問者がHPへ滞在している時間
- お問い合わせの発生率

こうしたデータを観察することで、HPの現状について問題点を明らかにすることができます。改善するためのヒントを得ましょう。



Google サーチコンソール

SEOの効果を調べられます。

- 検索順位
- 検索へよくヒットしているキーワード
- 検索へのヒット数
- 検索結果でのクリック率

このような検索結果でのパフォーマンスの推移がグラフで把握できます。今後、どんな方向性でSEOへ取り組んでいくことが必要なのか、データを見て作戦を立てましょう。



9. HP制作前のチェックリスト

少なくともこの6つだけは要チェック!

これまでお伝えしたことがしっかり理解できていれば、もうHPを依頼する準備は万全。あとは、実際の業者へ問い合わせ、制作をスタートするだけです。といっても、最初の業者へのお問い合わせに緊張する人もいでしょう。

「でも、何をどう伝えればいいの?」

このページでは業者の立場から、少なくともこれくらいを制作開始の前に考えておいていただくと嬉しい「6つのポイント」を紹介します。

この6つが明らかになっていると、業者もあなたがどんなHPを求めているのかを把握しやすく、正確に見積もりがしやすくなります。制作開始前のチェックリストとして活用できるので、これまでの内容を復習しながら各ポイントを整理してみてください。



大勢の人からターゲットを絞る



目的も明確に



できるだけ安く、より範囲を決めて

1. ターゲット

あなたはだれにHPを見てほしいですか?

HPを見せたい対象。それがターゲットです。

老若男女を問わず全員に見てもらいたいHPは、結局、だれの印象にも残りません。

ターゲットを設定することで、どんな情報をどんなデザインで表現するのが、もっとも効果的なのかを考えられます。

また、ターゲットを絞ったほうが、集客方法も考えやすくなります。SEOで上位表示を狙うキーワードを決めやすくなりますし、リスティング広告を利用した場合も、どの検索キーワードに広告費を集中すべきか計画しやすくなるからです。

ターゲットが定まっていないHPは、専門性が低くなり、信頼感が弱くなるデメリットもあります。

こうした理由から、ターゲットはHPを作るとき最初に考えておくべきことだといえるでしょう。

2. 目的

HPをなんのために作るのか?

HPを作る目的によって、予算はもちろん集客方法も変わってきます。

会社名や店名で検索したときだけにヒットする「名刺代わり」のHPであれば、できるだけ安く早く作ったHPでも十分でしょう。

一方で、売上を意識した、お問い合わせの獲得が目的のHPであれば、企画やデザインにしっかりお金をかけて、集客のための方法も事前に考えておくべきです。

よくある失敗が、月に100や200万円の売上を求めているのに、予算10万円以下のテンプレート業者でHPを作ってしまうことです。

月商100万円を達成するには、どの程度のアクセスが必要なのか? そのアクセスを得るには、どんなHPを作るべきなのか?

目的から逆算すれば、目指すHPが見えてくるでしょう。

3. 予算

「できるだけ安く」作りたいは、当然の気持ち。でも、予算について全くヒントがなければ、業者は見積もりすることができません。

というのも、質にこだわらなければ極端な話、いくらでも値段を下げて作れるからです。

安さを追求した結果、まったく効果のないHPができてしまっは意味がありません。

重要なのは、予算の範囲でどんなHPを作れば一番効果的なのかを考えることです。

HPの制作費用は、投資と同じ。費用対効果は投じた資金に比例します。大きく儲けたいなら、やはり資金もそれなりに準備しましょう。

予算の目安がつけにくい人は、目標の売上から考えてみましょう。できるだけ安くという人は、少なくともHPに期待する1ヶ月分の利益を予算にするといいでしょう。



納期は余裕をもって

4. 納期

まともなHPを作ろうとすると、月単位で時間がかかります。

テンプレートにちょこちょこ手を加えるだけのホームページなら1週間での完成も珍しくはありません。

一方で、専任の担当者が付き、ヒアリングから始める場合は、少なくとも1~1.5ヶ月くらいはかかるでしょう。

人気がなく、あまりに手が余っている業者でない限りは、お申込みから実際に制作着手まで待ち時間が発生することもあります。

土日祝日、大型連休は制作作業が稼働しないのが普通です。公開日の予定が決まっているなら、納期に余裕をもって制作の準備を始めましょう。



どんな方法で人を集める？

5. 集客方法

HPを作ったあと、どんな方法でたくさんの人にHPを見てもらうのかも考えておきましょう。

どんな集客方法を展開していくつもりなのかによって、ページ数やブログの設置などHPの作り方も変わってくるからです。

ホームページは、作っただけでは誰にも見てもらえません。

検索経由のアクセスを期待しているなら、SEOの基礎知識くらいは身につけておくべきです。

広告を利用する予定の人は、広告の種類と各広告の費用対効果についても調べておきましょう。

最近はSNSを積極的に利用している企業やお店が多いです。SNSはブログと相性がよく、併用することでアクセスアップやネットでの影響力の向上に相乗効果を期待できます。



参考サイト探しはデザイン以外にも目を向けて

6. 参考サイト

同業他社のサイトを巡り、いくつか参考にしたいサイトをピックアップしておきましょう。

ただデザインだけに目を向けるのではなく、これまでにあげた5つのポイント(ターゲット、目的、予算、納期、集客方法)を想像しながら同業他社のサイトを見てみると、参考にすべきサイトを発見しやすくなります。

例えば、10万円の予算しかないのに、100万円で作られたサイトを参考にすることはできません。

同じ程度の予算で、目的や集客方法も似ているサイトから、目指すべき方向性のヒントを得るわけです。

参考サイトの数は、3つほどあれば、業者もあなたの好みや方向性を理解しやすくなり、イメージと大きくかけ離れたHPができあがる失敗がなくなります。

“ 6つのポイントを伝えれば、業者はある程度正確な見積もりと作るHPの方向性を提案してくれるはず。少なくとも3社、同じ内容で見積を取り比較します。単に費用だけを比較せず、提案の内容と担当者の対応の質を比べ、もっとも信頼できる業者を選びましょう。

それでもまだHPの作り方に迷うあなたへ



「ウェブさえ」に相談してみませんか？

初心者にも財布にも優しい
ホームページ作成パック
始めました！

売切寸前 お急ぎあれ！

欲しいものがぜんぶ詰まったお弁当みたいなホームページ

お得感と満足感を増せ

ホームページ作成なら
ウェブさえ弁当



ホームページが欲しい！でも...
こんなことで悩んでいませんか？

お悩み1



予算にあまり余裕がない...

でも安いだけじゃイヤ。せっかくプロにお願いするんだから、おしゃれで売り上げにも役立つホームページが欲しい。

お悩み2



初めてのホームページだから...

ドメイン？ サーバー？ 専門用語も全然知らなくて、業者の違いもわからない。見積りを依頼することさえ気が引けます。

お悩み3



実は一度自分で作って見たけど...

一言でいえば、ダサすぎるんです。とてもビジネス用には使えません。こんなことなら初めから業者へ依頼しておけばよかった。

お悩み4



何をどこから始めれば良いのか...

さんざん検索しました。でもいまだに進め方がわかりません。誰か詳しい人々に引っ張ってってもらいたいわ。

こうした悩みを解決するHP作成サービスです。

悩みを解決する最初の一步
→詳しくはこちらをクリック←

ウェブさえ 運営サイト

ウェブさえ ブログ

「ウェブさえあれば」をコンセプトに、生活やビジネスに役立つWeb活用術をお届けしています。

更新頻度は高くなくても、質の高い記事を発信。上位表示が難しい数々のキーワードでランキングイン。

このブログを運営することによって得たノウハウをクライアント様向けの案件にも活かしています。

[→ウェブさえブログを見るにはこちらをクリック](#)



公式)ウェブさえ 会社ホームページ

2008年京都で個人事業として創業した「ウェブさえ」。2016年に株式会社として法人化しました。

実績11年目のこれまでに個人事業主さまから上場企業さままで、1000件以上のウェブサイトを作成。

サービスのご案内や会社の成り立ちを確認するにはこのサイトで。

[→会社のホームページを見るにはこちらをクリック](#)



ウェブさえ弁当

ウェブさえで一番のヒットサービス。

弁当のようなお得感と満足感。あなたのホームページを作るのは、実績8年以上のプロのウェブデザイナーたちです。必要なものが全部入りのお得なパッケージなのでお弁当と名付けました。

全部入っているから安心。目をつぶって注文しても、必要なものは全部入っている、今回が初めてのホームページという究極の初心者様でも本格的な商用ホームページを持てます。

[→ウェブさえ弁当の詳細を見るにはこちらをクリック](#)

